OUKA
The University of Osaka
Institutional Knowledge Archive

Title	大阪大学アーカイブズニューズレター　第12号
Author(s)	
Citation	大阪大学アーカイブズニューズレター. 2018, 12, p. 1-12
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/70593
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka

ISSN 2187-7270

大阪大学
アーカイブズニューズレター

OSAKA UNIVERSITY ARCHIVES

第12号　2018.09.28

目次：

吹田キャンパス50周年	1	『岸本忠三 第十四代大阪大学総長回顧録』の刊行	11
アーカイブズ室長就任にあたって	2	業務日誌（抄）（2018年3月～2018年8月）	11
神戸大学大学文書史料室について	3	利用案内 等	12
受贈刊行物（2018年3月～2018年8月）	6		

吹田キャンパス50周年

分散キャンパスだった大阪大学にとって、キャンパス統合は悲願でした。吹田キャンパスに最初に移転したのは、1968年４月の微生物病研究所と同附属病院でした。移転が検討された頃の吹田キャンパスは、竹藪、松、雑木の茂った丘陵地でしたが、その後次々と移転して現在に至ります。写真は、新装なった微生物病研究所の夜景です。　（菅　真城）

アーカイブズ室長就任にあたって

大阪大学アーカイブズ　室長　高橋 明男

平成30年４月１日から、飯塚一幸前室長の後任として、アーカイブズ室長に就任いたしました。法学研究科に所属し行政法を専門としています。

アーカイブズは、平成24年10月に本学の法人文書と歴史文書の保存を目的として設置され、平成25年４月１日に、法人文書資料部門が「国立公文書館等」として、大学史資料部門が「歴史資料等保有施設」として、公文書等の管理に関する法律に基づき、それぞれ内閣総理大臣の指定を受け、今日に至っています。

アーカイブズの歴代の室長は、設置までの準備作業に携わられた、経済史がご専門の初代室長の阿部武史名誉教授（経済学研究科）に続き、２代目室長の飯塚一幸教授（文学研究科）が日本史のご専門で、これまでいずれも歴史学を専門とする先生が務めてこられました。３代目の私は初めて歴史学以外の分野を専門とする室長となります。

アーカイブズは、本学の法人文書の中で重要なものを歴史公文書として保存し、また、本学の歴史に関する資料を収集管理することを使命としていますので、史資料の研究に携わる歴史学の知見に基づいて運営にあたることが重要です。多くの公文書館において歴史学者が館長や責任者を務めていることが、それを物語っています。しかし、一方で、法人文書の保存は、保存期間が経過した現用文書を廃棄する段階で、本学の運営過程を跡づけ検証する上で重要なものを選別し永年保存していくものであることから、法人文書が適切に作成・管理されていることを前提とするものです。昨今、作成･管理されているべき公文書が作成されていなかったり廃棄されていたり、あまつさえ改竄されていたりする事例が大きな問題となっており、公文書管理法制度の改正が議論されています。公文書館であるアーカイブズの役割としても、国立大学法人の説明責任を果たす上で、今まで以上に、法人文書が適切に作成され管理されることに目を向けていく必要があります。その意味において、情報公開・個人情報保護を重要な研究分野の１つとする行政法学を専門とする者が室長であるのは、時宜を得ているのかもしれません。

アーカイブズは、平成30年１月に設置された大阪大学共創機構の中の社学共創本部に、21世紀懐徳堂、総合学術博物館、適塾記念センターと共に属すことになりました。大阪大学共創機構は、国内外の企業にとどまらず、国・自治体や経済団体、ＮＰＯや市民、国際機関や他大学など社会全体にわたる産･官･民との組織対組織が連携することを通じて、課題探求や基礎研究段階からの共創を目的として、産学共創本部、社学共創本部、渉外本部の３本部から構成されています。その中にあって、社学共創本部は、大学を「知の社交空間」として、産学官のみならず広く市民社会に開き、様々なステークホルダーの交流を促進し、大学人の専門知と社会の「新たな統合」を行うことを通じて、地域社会やグローバル社会の心豊かな発展に貢献していくことを使命としています。社学共創本部においては、そのような大阪大学と企業、自治体、市民組織との交流の場として、「クラスター」と呼ぶ連携組織が多数作られ、活発に活動しています。アーカイブズも、他の組織が主導するクラスターに関与してきましたが、今年から、アーカイブズと大阪大学近辺の地方自治体が協力して、公文書の管理･作成･保存のあり方研究会を独自のクラスターとして立ち上げることにしました。これは、公文書等の収集・管理・保存を担う公文書館に共通する課題について、大学の研究者と自治体の実務担当者が共に考え、適切なあり方を研究していくことを目的としています。

最後に、現在、大阪大学アーカイブズは、大阪外国語大学と大阪大学の統合により大阪外国語大学の敷地が箕面キャンパスとなった後、旧大阪外国語大学本部棟に置かれています。現在の建物には、この先数十年間にわたって歴史文書を保存していくことができる書庫スペースを確保しています。しかし、現箕面キャンパスは、大阪大学と箕面市の協定に基づき、北大阪急行線の延伸により設置される箕面船場阪大前駅の駅前整備にあたって、箕面市が新設する建物と等価交換されることから、2020年３月末を以て箕面市に移管されます。それに伴い、現箕面キャンパスにある外国語学部の施設（講義室、研究室、図書館、事務室等）は箕面船場阪大前駅の新箕面キャンパスに移転しますが、アーカイブズのような広い書庫スペースを必要とする施設は、延べ面積が限られる新箕面キャンパスの建物に収容することができません。そのため、アーカイブズを2020年からどこに移転するかが重要な課題となっていて、様々な可能性が模索されています。アーカイブズが必要とする歴史文書の保存のためのスペースを確保すると共に、歴史文書を単に保存するだけでなく、教育研究に役立て一般の利用に供するための閲覧･展示のためのスペースを確保することを目指して、取り組んでいるところです。

神戸大学大学文書史料室について

神戸大学大学文書史料室　室長補佐　野邑 理栄子

はじめに

神戸大学大学文書史料室（英文名 Kobe University Archives）は、国立大学法人神戸大学のアーカイブズである。2010（平成22）年４月１日に附属図書館の下部組織として設置され、翌年４月１日施行の公文書管理法に基づき「国立公文書館等」（国立公文書館に類する機能を有する施設）の指定を受け、さらに、2018（平成30）年４月１日の改組により、附属図書館から独立して「学長の下に置く室」の一つとなった。本稿では、大学アーカイブズの一事例として、当室の概要、設置・改組の経緯、現在の活動状況について紹介する。

１．室の概要

当室は、神戸大学百年記念館（2000（平成12）年竣工。鉄筋コンクリート造３階建）の１階にある。学内最大キャンパス・六甲台地区の最南端に位置し、眼下に神戸港と市街地が広がる眺望の美しさは格別だ。周辺には文学部と理学部が隣接し、大学本部も徒歩５分の近場にある。

職員は、室長（兼任、教授）１名、室長補佐（専任、特命専門員）１名、事務補佐員（非常勤、週30時間勤務２名、週12時間勤務１名）３名の計５名。事務は附属図書館事務部が担当する。また、当室の運営に関する事項を審議するため、大学文書史料室運営委員会（委員長は室長、委員は学長任命の教職員９名）が置かれ、年２回以上開催される（2017（平成29）年度は５回開催）。

施設は、閲覧室12㎡、展示ホール63㎡、事務室19㎡、作業室28㎡、専用書庫102㎡、観覧スペース19㎡で構成され（延床面積243㎡）、専用書庫には、空調設備、除湿器、空気清浄機、イナージェンガスによる自動消火設備、紫外線カット蛍光灯を設置する。

所蔵資料は、2017年度末時点で、特定歴史公文書等50,072件（移管38,899件（学内印刷刊行物9,321件を含む）、寄贈寄託11,173件）、

神戸大学百年記念館（1階に当室がある）

参考図書3,399件（他大学の年史など）、計53,471件である。

なお、2018（平成30）年度の予算は、652万４千円。その内訳は、事業費107万４千円（16%）、人件費545万円（84%）である。

２．設置及び改組の経緯

当室設置のきっかけは、2009（平成21）年度末の『神戸大学百年史』刊行事業終了と、その約半年前に公文書管理法が制定・公布されたことにある。広報担当理事の下に設置された教職員７名からなる「神戸大学史料検討ＷＧ委員会」は、2009年９月１日付けで答申を提出し、文書館機能を持つ「大学文書史料室」の設置を提言、「緊急性にかんがみ、大学文書史料室の管理は、当面、附属図書館で取り扱うことが望ましい」と付言した。この答申に基づき、2010（平成22）年４月１日、神戸大学附属図書館規則の改正により「神戸大学附属図書館大学文書史料室」が設置された。以後１年間で、国が示すガイドラインに沿って所蔵目録を整備し、附属図書館の全面協力で専用ホームページと目録検索システムを構築し、法規担当部署の協力により各種規程等を整備し、さらに、文書管理担当の総務部総務課との密接な連携により、全学対象の恒常的な文書移管のための準備を進め、翌

2011（平成23）年４月１日、公文書管理法の施行と同時に「国立公文書館等」の指定を受けるに至った。同年度には全学対象の文書移管が初めて実施される（以後、毎年度実施）。

その後、室員の有期限雇用や書庫の狭隘化など諸問題の対応策が検討される過程で、組織上の位置付けを含む当室の今後のあり方についての検討が本格化し、2016（平成28）年５月13日、大学文書史料室運営会議（当時）において「附属図書館大学文書史料室の体制整備について（案）」が承認される。当案では、(1)神戸大学としての責務を果たすための体制強化（独立組織化、事務体制の見直し）、(2)本学情報の収集活用による大学価値の向上のための体制整備（専任教員１名の継続的配置と更なる増員など）、(3)電子文書のための体制整備、(4)保存環境の改善（書庫増設）、の４点が主に指摘された。以後、図書館担当理事、館長、室長、事務サイドを通じて前記(1)の課題を中心に学内調整が行われ、2017（平成29）年８月８日の理事懇談会において、当室の改組の方向性が承認される。改組の趣旨は、「情報管理・公開に係るリスクの高まりに備えて、国立大学法人神戸大学としての説明責務（アカウンタビリティ）の所在を明確化し、法律に基づき本学が国民の利用請求に対して適正に対応できる体制を整備するため、附属図書館大学文書史料室を、附属図書館の下部組織としてではなく、学長の下に置く室として位置づけ、ガバナンスの強化とコンプライアンスの徹底を図る。」とされ、翌年４月１日、神戸大学の室に関する要項の改正により「神戸大学大学文書史料室」となった。

神戸大学大学文書史料室の入口

３．主な業務

当室の業務は多岐にわたるが、主に次のとおり。

(1) 法人文書移管協議

どのような法人文書を歴史公文書等と判断するのか、その評価選別には当室が関与する。毎年度、当年度末保存期間満了予定の法人文書を対象に、全学の文書管理者と移管協議（移管or廃棄or保存期間延長の協議）を実施し、３月上旬に大学文書史料室運営委員会の最終審議で移管・廃棄を決定する。規程上、当室との移管協議を経なければ、原課の判断だけでは廃棄できない仕組みである。なお、2017（平成29）年度には、法人文書2,897件を対象に移管協議が行われ、移管439件、廃棄2,357件、保存期間延長101件が決定された（移管率15%）。

(2) 歴史公文書等の受入れ

毎年４月から６月にかけて、前年度末に決定した法人文書移管協議の結果に基づき、全学から歴史公文書等の移管を受け入れる。当室への移管は原課の責務であり、原課は、散逸、ページ脱落、個人情報流出などを防ぐため、箱や袋に密封した状態で部局名や担当者連絡先を記載したラベルを貼り付けて直接当室に持参する。その際、「利用の制限に関する意見書」（個人情報等の有無を申告する書類）を添付することが法的に義務付けられている。なお、遠方から移管する場合は、当室への持参が難しいため、例外的措置として、学内便の利用（学内便担当部署との事前調整の上、少量ずつ分割して学内便で当室へ送付する。）や、図書館分館室の利用（原課の最寄りの図書館で一時的に預かり、後日まとめて当室が集荷する。）などの配慮を行っている。また、学内印刷刊行物や、卒業生、旧教職員、遺族、同窓会、課外活動団体など個人・団体からの寄贈寄託も随時受け入れる。受け入れた文書等は、汚れの除去、エタノール殺菌、屋外での虫干し、簡易補修、目録入力等が終了したものから順次排架し、目録情報をインターネット上で公表する。

(3) 目録入力

国のガイドラインでは、受け入れた特定歴史公文書等は「原則として受入れから１年以内に排架を行うものとする」と義務づけている。ゆえに大量の未整理の文書等が移管寄贈されたときは、優先的に対応するよう心がけている。所蔵目録「神戸大学特定歴史公文書等データベース」は、毎月定期的に更新しホームページ上で公表しており、2017年度末の目録総件数は53,471件（参考図書3,399件を含む）となった。

(4) 利用者への対応

2017年度の利用数は752件（113名）。利用の多い順は、本学事務職員、一般、卒業生、在校生、他大学教員、マスコミ、本学教員、他大学学生、本学旧教員であった。

(5) 展示会の開催

収蔵物を広く学内外に紹介するため、併設の展示ホールで常設展「神戸大学史展」を常時開催する（特別展及び展示入替の期間を除く）とともに、毎年テーマを変えて特別展（年１回）と巡回展（神戸２回、東京１回）を開催するなど、積極的な展示活動を行っている。2017年度の展示来場者総数は10,151名であった。

(6) レファレンス

利用者の利便性向上のため、レファレンス活動にも力を入れている。利用者が求める情報は多岐にわたり、調査に時間を要するものも多く、室員総出で対応にあたる。2017年度は1,008件（262名）の照会があり、適宜調査の上、情報提供を行った。

(7) 研修の実施

公文書管理法第32条に基づき職員研修を実施している。2017年度は、新任教職員研修への講師派遣１回（104名受講）、文書管理者研修（総務部総務課との共催）１回（61名受講）、当室室員研修３回（延べ14名受講）を実施した。

常設展「神戸大学史展」

(8) デジタル・アーカイブの充実

特定歴史公文書等の電子化を進めており、作成したデジタル画像は当室ホームページ上で公開している。2017年度は、戦時中の本学ＳＰレコード１枚、『神戸大学総合雑誌 展望』18冊、戦前の卒業アルバム５冊を電子化し、著作権者の許諾を得たものから順次公開した（卒業アルバムは電子化のみ実施）。

(9) その他

見学者案内、本学広報誌や同窓会誌等への寄稿（年８回程度）、本学沿革図の作成、学内記念事業への協力、総合教養科目「神戸大学史」講義、文学部専門科目「地域歴史遺産保全活用基礎論」講義、地元の県立高校への講師派遣、学内歴史的建造物の見学案内、各種講演への講師派遣、マスコミ対応、法人文書管理状況監査（総務部総務課担当）への同行なども随時実施している。

おわりに

国から大学への運営費交付金が毎年厳しく削減される中で、当室の予算も毎年削減され、わずか５年間で約100万円（約13%）の減額となった。今後は、業者委託の経費を節減し効率的かつ適正に業務を遂行するためにも、当室の職員研修に注力し、職員の専門的知識及び技能の向上に努めたい。

受贈刊行物 （2018年3月～2018年8月）

愛知大学東亜同文書院大学記念センター
愛知大学記念館（豊橋校舎） 東亜同文書院の45年 愛知大学の70年(パンフレット)、上海と東亜同文書院大学・愛知大学 岡崎展示会・講演会(チラシ)、東亜同文書院記念基金会ニュース 第18号、同文書院記念報 VOL.26

青山学院150年史編纂委員会
青山学院一五〇年史編纂報告1 本多庸一関係資料目録、青山学院一五〇年史編纂報告2 高木壬太郎関係文書目録

青山学院女子短期大学総合文化研究所
青山学院女子短期大学 六十五年史 ー資料編

追手門学院大学学院志研究室
追手門学院大学一貫連携教育部 学院志研究室 News Letter 第7号

大阪商業大学比較地域研究所
大阪商業大学比較地域研究所 Milepost 第35号、地域と社会 第20号

大阪女学院教育研究センター
大阪女学院 教育研究センター News Letter 第14号

大阪市立大学大学史資料室
恒藤記念室叢書7 恒藤恭「商大学長時代日記/講演等レジュメ」(1946・1947年)、大学史資料室ニュース 第22号

大谷大学真宗総合研究所
真宗総合研究所 研究紀要 35、大谷大学真宗総合研究所 研究所報 No.71

学習院アーカイブズ
学習院アーカイブズ ニューズレター vol.11・12

学習院大学大学院人文科学研究科アーカイブズ学専攻
GCAS Report Vol.7、学習院大学大学院人文科学研究科 アーカイブズ学専攻 アーキビストを志す。(チラシ・ポスター)、記録を守り 記録を伝える 2018.7.1

神奈川大学資料編纂室
神奈川大学史紀要 第3号

金沢大学資料館
金沢大学資料館紀要 第13号、資料館だより Vol.55・56

関西大学年史編纂室
関西大学簡文館 大阪府指定文化財指定記念 2018年度関西大学年史資料展示室企画展 簡文館の90年 ～大学昇格から現在まで～(チラシ・ポスター・パンフレット)、関西大学年史紀要 第25号、知らないなんてもったいない！ KANSAI UNIV. CAMPUS GUIDE MAP in 千里山キャンパス

関西学院大学学院史編纂室
関西學院史 紀要 第二十四号

九州大学大学院統合新領域学府ライブラリーサイエンス専攻
九州大学大学院統合新領域学府 ライブラリーサイエンス専攻 年報2017/2018

九州大学大学文書館
九州大学 大学史料叢書 第24輯 小野寺直助留学日記 一、九州大学 大学文書館ニュース 第41号

京都産業大学
サギタリウス vol.79・80

京都大学大学文書館
京都大学大学文書館 企画展 かつて「教養部」があった ー京都大学の一般教養ー(チラシ)、京都大学大学文書館研究紀要 第16号、西田幾多郎生誕の地・ゆかりの地交流事業 京都大学の西田幾多郎(チラシ)、大学文書館だより 第34号

近畿大学建学史料室
A Way of Life ーSeko Koichiー 25号

慶應義塾福澤研究センター
慶應義塾福沢研究センター 近代日本研究 34、福澤研究センター通信 第28号

皇學館大学研究開発推進センター
皇學館大学研究開発推進センター紀要 第4号

甲子園大学
甲子園大学 50周年記念誌 the 50th Anniversary Since 1967 新たなる創造・飛躍への軌跡

神戸女学院史料室
学院史料 Vol.31、學報 NO.182・183

神戸大学文学部・文化財学講座
神戸大学 サテライト巡回展(チラシ)、文化財保存全国協議会 第49回西宮大会(チラシ)

國學院大學研究開発推進機構校史・学術資産研究センター
校史 Vol.28、國學院大學 校史・学術資産研究 第十号

国士舘史資料室
国士舘史研究年報 楓原 第9号

静岡大学人文社会科学部大学アーカイブズ委員会
静岡大学人文社会科学部所蔵 旧制静岡高等学校関係写真帳、静岡大学人文社会科学部所蔵 旧制静岡高等学校関係写真目録、静岡大学人文社会科学部所蔵 旧制静岡高等学校・静岡大学大岩校舎関係写真集 第1集

淑徳大学アーカイブズ
淑徳大学 アーカイブズ・ニュース VOL.17

成城学園教育研究所
成城教育 第179・180号

西南学院史資料センター
西南学院史資料センター企画展 戦時下の西南学院と平和宣言(パンフレット)、西南学院史資料センター通信 一粒の麦 NO.1

専修大学大学史資料課
専修大学史紀要 第10号

玉川大学教育博物館
玉川大学教育博物館 紀要 第15号

多摩美術大学
多摩美術大学研究紀要 第32号、多摩美術研究 7

筑波大学アーカイブズ
筑波大学アーカイブズ年報 創刊号

東京学芸大学大学史資料室
国際シンポジウム報告書 師範学校アーカイブズの現状

と課題　－20世紀東アジアの教育と向き合う－、東京学芸大学　大学史資料室報　vol.5

東京大学文書館
文書館ニュース vol.60、東京大学史紀要　第36号

同志社社史資料センター
ハリス理化学館同志社ギャラリー第14回企画展　同志社社史資料センター　2017年度　新収蔵品展(チラシ・ポスター)、ハリス理化学館同志社ギャラリー第15回企画展　新島襄のかお(チラシ・ポスター)、新島研究　第109号、同志社大学　同志社社史資料センター報　第14号、同志社談叢　第三十八号

東北学院東北学院史資料センター
東北学院の歴史　LIFE LIGHT LOVE、東北学院史資料センター年報　Vol.3

東北大学史料館
東北大学史料館だより　No.28、東北大学史料館紀要　第13号

東洋英和女学院
東洋英和女学院学院報楓園 No.86、史料室だより No.90

東洋大学井上円了研究センター
井上円了センター年報　Vol.26

富山大学アーカイヴズ設置検討準備室
富山大学アーカイヴズ・ニューズレター　第5号

長崎大学
Choho　長崎大学広報誌　Vol.63・64

名古屋大学大学文書資料室
大学文書資料室ニュース　第35号、大学文書資料室紀要　第26号

南山アーカイブズ
アルケイア　－記録・情報・歴史－　12、第2回南山アーカイブズ企画展　五軒家町キャンパスの構想(チラシ)、南山アーカイブズニュース　第10号、南山学園史料集　13　南山大学設置認可申請書

日本女子大学成瀬記念館
成瀬記念館　2018　No.33、日本女子大学史資料集　第五－(七)　日本女子大学校規則(昭和二年一二月－昭和六年七月)

日本大学
大学史論輯　鬘誌　第13号、大学史ニュース　第14号

一橋大学創立150年史準備室
一橋大学創立150年史準備室　NEWSLETTER　No.4

広島大学高等教育研究開発センター
広島大学高等教育研究開発センター　コリーグ　No.51

広島大学文書館
広島大学75年史への資料提供のお願い(チラシ)、広島大学文書館紀要　第20号、広島大学文書館蔵　梶山季之関係文書目録　上巻、広島大学文書館蔵　広島大学教職員組合関係文書目録、広島大学文書館蔵　濱本博登関係文書目録、楠忠之　オーラル・ヒストリー　広島大学文書館オーラル・ヒストリー事業　研究成果報告書、平成29年度　広島大学文書館外部評価報告書

フェリス女学院資料室
フェリス女学院資料室紀要　あゆみ　第71号

藤田学園
学校法人藤田学園　創立50周年記念誌　Our creativity for the people

法政大学大原社会問題研究所
法政大学大原社会問題研究所　環境アーカイブズニューズレター　第3号

法政大学史センター
「法政大学と出陣学徒」事業報告書(下)　学徒出陣証言集(第一分冊・第二分冊)

北海道大学150年史編集準備室
北海道大学150年史編集ニュース　第1号

北海道大学大学文書館
北海道大学大学文書館年報　第13号

武蔵学園記念室
武蔵学園史年報　第21号

明治学院歴史資料館
明治学院歴史資料館資料集　第13集　「明治学院の外国人宣教師」　－瀬川和雄遺稿集－、明治学院歴史資料館資料集　第14集　大正期の明治学院とその周辺　－ホフソンマー宣教師の書簡より－

明治大学史資料センター
ニュースレター　明治大学史　No.14、大学史紀要　第24号　特集　総合講座「明治大学の歴史」、特別展示「反戦・平等論者　安藤正楽と明治法律学校」連動企画　講演会・シンポジウム　反戦・平等論者　校友安藤正楽と明治法律学校(チラシ)、明治大学　法政大学　関西大学　三大学連携協力協定締結記念特別展示　ボアソナードとその教え子たち(チラシ)

桃山学院史料室
大阪開市開港150年記念　川口居留地今昔写真展(チラシ)、大阪開市開港150年と川口居留地　～大阪の西洋文化発祥の地～(チラシ・パンフレット)

立教学院史資料センター
立教学院史研究　第15号

立教学院展示館
立教ディスプレイ　立教学院展示館年報　Vol.3、立教学院展示館第4回企画展(立教の一貫校・系属校①)　香蘭女学校創立130周年記念特別企画展　咲くはわが身のつとめなり　香蘭女学校130年のあゆみ(チラシ)、立教学院展示館特別展　アメリカにおける日系人強制収容と日系二世　－「小平尚道資料」が語るもの－(チラシ)

立教大学共生社会研究センター
社会学部創立60周年記念/共生社会研究センター共同開催公開講演会　「青空のもとで生きる権利　－千葉川鉄公害訴訟一審判決から30年」(チラシ)

立正大学史料編纂室
立正大学史紀要　第3号、立正大学史料編纂室の栞 vol.4

立命館史資料センター
立命館　史資料センター紀要(創刊号)　－中川小十郎研究論文集－

早稲田大学大学史資料センター
大学史資料センター秋季企画展　大山郁夫と学生たち－時代の中の「早稲田精神」－(チラシ・ポスター)

あおぞら財団
あおぞら財団付属西淀川・公害と環境資料館エコ・ミューズ　活動資金寄付協力のお願い、資料館だより　NO.64・65、宿泊研修を姫里ゲストハウスいこねで行いませんか？(チラシ)、姫里ゲストハウス　いこね　昭和初期の長屋住宅の物語を感じて。(リーフレット)、立教大学共生社会研究センターニューズレター　PRISM　No11

旧制高等学校記念館
記念館だより　第74・75号、松高生が愛した映画展(チラシ・ポスター)

国文学研究資料館
ないじぇる芸術共創ラボ　アートと翻訳による日本文学探索イニシアティブ　ようこそ、古典籍の森へ、ブックレット〈書物をひらく〉 11　天皇陵と近代　地域の中の大友皇子伝説、ブックレット〈書物をひらく〉 12　熊野と神楽　聖地の根源的力を求めて、ブックレット〈書物をひらく〉 13　神代文字の思想　ホツマ文献を読み解く、ふみ　「日本語の歴史的典籍の国際共同研究ネットワーク構築計画」ニューズレター　第10号、国文学研究資料館　国文学論文目録データベース　Ver.2(リーフレット)、国文研ニューズ　No.51・52、平成30年度　アーカイブズ・カレッジ　史料管理学研修会、大規模学術フロンティア促進事業「日本語の歴史的典籍の国際共同研究ネットワーク構築計画」第4回　日本語の歴史的典籍　国際研究集会(チラシ)

産業技術総合研究所関西センター
国立研究開発法人　産業技術総合研究所　関西センター百年史　－最近20年間の歩み－

帝国データバンク史料館
TEIKOKU　DATABANK　Historical　Museum　Muse　Vol.31、産学連携特別企画日本の会社展第4回　地場“讃”業　－伝統と革新の軌跡－(パンフレット)、帝国データバンク史料館だより(ミューズ)　別冊　Muse　2016－2018　特大号　地場産業　伝統と革新の軌跡

野間教育研究所
公益財団法人　野間教育研究所　創立70周年記念　調査研究論文募集(チラシ・ポスター)

人と防災未来センター資料室
資料室ニュース　vol.65・66

わだつみのこえ記念館
わだつみのこえ記念館　記念館だより　No.12

全国大学史資料協議会西日本部会
全国大学史資料協議会　西日本部会会報　No.34

全国大学史資料協議会東日本部会
全国大学史資料協議会東日本部会　創立30周年記念講演会・シンポジウム　大学アーカイヴズの可能性(チラシ)、大学　アーカイヴズ　No.58

日本アーカイブズ学会
日本アーカイブズ学会　2018年度大会(チラシ)

秋田県公文書館
古文書倶楽部　第82号、秋田県公文書館　研究紀要　第24号、秋田県公文書館だより　第33号

天草市立天草アーカイブズ
年報　第15号　平成29年度

岡山県立記録資料館
岡山のアーカイブズ　7　～記録資料館活動成果資料集～、岡山県記録資料叢書13　岡山県明治前期資料　四(十五～十七年)、岡山県立記録資料館　紀要　第13号

沖縄県文化振興会
ARCHIVES　沖縄県公文書館だより　第55号、沖縄県公文書館研究紀要　第20号、琉球政府文書デジタルアーカイブ　琉政だより　NO.06・07

小布施町
小布施町文書館だより　Vol.7

外務省外交史料館
外交史料館報　第31号

香川県立文書館
香川県の挑戦　昭和のビッグプロジェクト3　－瀬戸大橋と記録資料－(チラシ)、香川県立文書館紀要　第21号、香川県立文書館収蔵文書目録　第20集　讃岐国三野郡財田中村　大矢家文書目録(3)、平成30年度香川県立文書館企画展　さぬきの旅　さぬき人の旅(チラシ)

神奈川県立公文書館
神奈川県立公文書館だより　第38号、平成29年度　神奈川県立公文書館年報

宮内庁書陵部
書陵部紀要　第69号、昭和天皇実録　第十六　自　昭和四十九年　至　昭和五十三年、昭和天皇実録　第十七　自　昭和五十四年　至　昭和五十八年、昭和天皇実録　第十八　自　昭和五十九年　至　昭和六十四年

国立公文書館
国立公文書館ニュース　Vol.13・14、平成30年秋の特別展　明治150年記念　躍動する明治　－近代日本の幕開け－(チラシ・ポスター)、平成30年春の特別展　江戸幕府最後の闘い　－幕末の「文武」改革－(チラシ・ポスター)、平成30年度　第1回企画展戊辰戦争　菊と葵の500日(チラシ)、平成30年度第2回企画展　平家物語　妖しくも美しき(チラシ)、北の丸　－国立公文書館報－　第50号

埼玉県立文書館
もんじろうかわら版　特別号、埼玉県史料叢書20　埼玉県布達集　四　明治十七年一月～十九年八月、文書館紀要　第31号

相模原市立公文書館
公文書館年報　(平成29年度の運用状況報告)、相模原市立　公文書館だより　第7号

札幌市総務局行政部公文書館
公文書館だより　開館5周年記念　臨時号、札幌市公文書館年報　第5号(開館5周年記念号)　年報編・研究論考編　平成29年度

滋賀県県民生活部県民活動生活課県民情報室
滋賀のアーカイブズ　滋賀県県政史料室だより　第4号、全国歴史資料保存利用機関連絡協議会近畿部会月報　Monthly News　No.140

大東文化歴史資料館
大東文化大学史研究紀要　第2号、大東文化歴史資料館だより　第24号

太宰府市公文書館
太宰府市公文書館紀要　第12号、太宰府市公文書館報　平成29年度

東京都公文書館
東京都公文書館だより　第32号

栃木県立文書館
栃木県史料所在目録　第47集　永井峯三家文書、栃木県立文書館　研究紀要　第22号、文書館だより　第60号

鳥取県立公文書館
鳥取県立公文書館　研究紀要　第9号

長野県立歴史館
催しもの案内　平成30年度　2018年4月→10月(リーフレット)、信毎出版ニュース　信州を学ぶ　足元を探る編－長野県立歴史館編　日常生活からひもとく信州(チラシ)、長野県立歴史館　研究紀要　第24号、長野県立歴史館たより　2018年　vol.94・95、長野県立歴史館収蔵文書目録　17、平成二十九年度冬季展　博物館の父　田中芳男－「虫捕御用」の明治維新、平成30年長野県立歴史館巡回展　長野県の遺跡発掘2018(チラシ・ポスター)、平成30年度夏季企画展　君は河童を見たか！　－水辺の出会い－(チラシ・ポスター)

長野市総務部庶務課
市誌研究ながの　第25号、公文書館便り　Vol.30～33

新潟県立文書館
新潟県立文書館年報　第26号　平成29年度

新潟県歴史資料保存活用連絡協議会
新史料協だより　No.23

新潟市文化スポーツ部歴史文化課
新潟市歴史資料だより　第26号

八王子市市史編さん室
「新八王子市」原始・古代　副読本　八王子・彩りの古代、新八王子市史編さんの記録

広島県立文書館
広島県立文書館だより　NO.42

福井県文書館
福井県文書館研究紀要　第15号、福井県文書館資料叢書14　福井藩士履歴6　み～わ、福井県文書館年報　第14号　平成28年度

福岡共同公文書館
年報第6号　平成29年度　福岡共同公文書館年報、福岡共同公文書館　開館5周年記念シンポジウム　アーカイブズが築く未来～共同公文書館のチャレンジ～講演録、福岡共同公文書館だより　vol.12、明治一五〇年企画展示　西南戦争　かけめぐる情報(チラシ・ポスター)

福岡市総合図書館
福岡市総合図書館　研究紀要　第18号、平成29年度　古文書資料目録　23

福島県文化振興財団
福島県史料情報　第50・51号、福島県歴史資料館収蔵資料目録　第49集　県内諸家寄託文書(43)

藤沢市文書館
藤沢市史料集(四十二)　相模国鎌倉郡小塚村「御用留」(11)、歴史をひもとく藤沢の資料　3　片瀬地区

北海道立文書館
赤れんが　北海道立文書館報　No.53

松本市文書館
松本市史研究　－松本市文書館紀要－　第28号

山口県文書館
山口県文書館研究紀要　第45号、文書館ニュース　No.52

和歌山県立文書館
古文書徹底解釈　紀州の歴史　第五集　表方願い出で候節は彼是面倒、和歌山県立文書館だより　第51・52号、和歌山県立文書館紀要　第20号

大阪大学総務部
いちょう祭　2018年(冊子・ポスター)

大阪大学企画部
Osaka University　Profile　2018

大阪大学教育・学生支援部
2018年度　入学式配布物(学部・大学院)、大阪大学学生の意識と生活　第23・24回学生生活実態調査報告書

大阪大学情報推進部
セキュリティ意識低い度チェック　あなたの意識はどれほど低い？

大阪大学不正使用防止計画推進室
公的研究費使用ハンドブック　－正しく理解し、正しく使うために－

大阪大学安全衛生管理部
SAFETY MANUAL　2014・2017・2018、ポイ捨て恥ずっ！(ポスター)、安全のための手引　2014～2018

大阪大学大学院文学研究科・文学部
フィロカリア　第35号

大阪大学医学部附属病院
大阪大学医学部附属病院　要覧　2018、阪大病院NEWS　No.70

大阪大学大学院歯学研究科
概要　2018

大阪大学歯学部附属歯科技工士学校
2019(平成31)年度　学生募集要項、大阪大学歯学部附属　歯科技工士学校　人の笑顔を回復する技と心を学ぶ2年間(パンフレット)

大阪大学工学部
平成30年度　秋～冬学期　大阪大学工学部授業時間割

大阪大学大学院言語文化研究科
平成29年度大阪大学大学院言語文化研究科公開講座　「教員のための英語リフレッシュ講座」、平成30年度大阪大学大学院言語文化研究科公開講座　「教員のための英語リフレッシュ講座」(チラシ)、大阪大学大学院言語文化研究科外部評価委員会報告書　2018年3月

大阪大学大学院情報科学研究科
大阪大学　大学院情報科学研究科　年報　第13号

大阪大学蛋白質研究所
大阪大学　蛋白質研究所レポート　平成28－29年度

大阪大学大学院高等司法研究科
2018～2019　大阪大学法科大学院　大学院高等司法研究科　待兼山から羽ばたく、大阪大学法科大学院　大学院高等司法研究科　2017～2018

大阪大学接合科学研究所
6大学連携プロジェクトニュース　Vol.2　No.2、TRANSACTIONS OF JWRI　Vol.46、文部科学省　学際・国際的高度人材育成　ライフイノベーションマテリアル創製　共同研究プロジェクト　平成29年度　研究成果報告書、文部科学省全国共同利用附置研究所　学際・国際的高度人材育成ライフイノベーションマテリアル創製共同研究プロジェクト　平成29年度6大学連携プロジェクト　研究成果報告書

大阪大学附属図書館
大阪大学図書館報 51巻2号、2014年度 CEIDS活動報告書、Handai Law Letter 第5・6号、IMSC News Letter No.09～11、IPR Prospectus 2017、News & Scope Handai Hospital 阪大病院ニュース 第56・57号、OSAKA UNIVERSITY Campus Life 2014・2015、Osaka University Hospital Annual Report 2014・2015、OSAKA UNIVERSITY PROSPECTUS 2014、OULSニューズレター No.16～18、RIセンターニュース No.28・30、STiPS STYLE！ 2015 学生が語るSTiPS生活、キャンパスライフ支援センター年報 2016、科学技術イノベーション政策における「政策のための科学」基盤的研究・人材育成拠点 大阪大学・京都大学 公共圏における科学技術 活動報告2016、阪大NOW No.140・141・143～148、阪大NOW 自第一〇一号至第一三三号 自平成二〇年 至平成二四年、阪大ニューズレター(Handai NEWS Letter)No.31～No.62 自平成十八年三月号 至平成二五年十二月号、阪大病院NEWS No.58・60～63・65～69、大阪大学数理・データ科学教育研究センター 2016、大阪大学低温センターだより No.167、大阪大学法政実務連携センター 2017、大阪大学NewsLetter NO.63～67・69～71・73、大阪大学コミュニケーションデザイン・センター(CSCD)大学院副専攻/大学院等高度副プログラム「公共圏における科学技術政策」履修ガイドブック・シラバス2015、大阪大学環境イノベーションデザインセンターNewsletter No.7、大阪大学環境報告書 2017、大阪大学大学院高度副プログラム「環境イノベーションデザイン学」2015年度履修手引き、大阪大学大学院高等司法研究科法科大学院 2014～2015・2015～2016、大阪大學總合學術博物館年報 2014・2015

大阪大学低温センター
大阪大学　低温センターだより　No.168

大阪大学超高圧電子顕微鏡センター
大阪大学　超高圧電子顕微鏡センター年報　2017年度

大阪大学ラジオアイソトープ総合センター
RI　センターニュース　No.31

大阪大学環境安全研究管理センター
環境安全ニュース　No.63、保全科学　No.24

大阪大学総合学術博物館
記憶の劇場Ⅲ　日本ジャズのTELESOPHIA　JAZZICTIONARY　－ことばが奏で、ピアノが語る日本ジャズ史－(チラシ)、記憶の劇場Ⅲ　旅する展覧会　3つの「Re」をめぐって　－維新派という地図をゆく－(チラシ)、記憶の劇場Ⅲ(ポスター・パンフレット)、大阪大学総合学術博物館　第11回特別展　描きとめる熱情　洋画家　中村貞夫(チラシ・ポスター)、大阪大学総合学術博物館主催　「記憶の劇場Ⅲ」　－大学博物館における文化芸術ファシリテーター育成プログラム　受講生募集(チラシ)

大阪大学数理・データ科学教育研究センター
大阪大学　数理・データ科学教育研究センター　2018、大阪大学　数理・データ科学教育研究センター　数理・データ　アクティブラーニングプラン《カリキュラム案内》

大阪大学日本語日本文化教育センター
大阪大学　日本語日本文化教育センター　CJLC 2018－2019、大阪大学　日本語日本文化教育センターセンター広報　24、大阪大学日本語日本文化教育センター授業研究　第16号、日本語・日本文化　第45号

大阪大学サイバーメディアセンター
cybermedia forum　no.18

大阪大学全学教育推進機構
News Letter　大阪大学全学教育推進機構ニュースレター　Vol.3、大阪大学教員のためのファカルティ・ディベロップメント　プログラムガイド　2018年度　4月～9月、大阪大学高等教育研究　06、大阪大学全学教育推進機構(パンフレット)

大阪大学適塾記念センター
適塾かわら版　巻二、平成30年適塾特別展示　戊辰戦争～西南戦争をめぐる適塾関係者たち　－軍制と医療から－(チラシ・ポスター)

大阪大学国際教育共通事務室
2016年度　年報、OUSSEP、国立大学法人留学生センター等における留学生交流指導体制をめぐる最近の状況、大阪大学・地域団体ボランティア留学生支援連絡協議会　参加団体活動概要、第26回　大阪大学・地域団体ボランティア留学生支援連絡協議会報告書

大阪大学共創機構社学共創本部
大阪大学社学共創連続セミナー第1回　防災のある街へ　大阪府北部地震をふまえた北摂地域防災(チラシ)

大阪大学経済学部同窓会
待兼山　第34号

懐徳堂記念会
第135回　懐徳堂　春季講座　古地図から読み解く日本史　－水都大坂はいかにしてつくられたか－(チラシ)、平成30年度　懐徳堂　古典講座(チラシ)

適塾記念会
適塾記念会(チラシ)

大阪大学出版会
平成30年度　大阪大学教員　出版支援制度　募集要項(チラシ・ポスター)

大阪大学生活協同組合
Campus Life　Vol.54・55、Handai Walker　No.179・180

津田秀行
修了證書

菅　真城
生産と技術　Vol.70　No.2・3　上・下巻、大阪大学大学院文学研究科紀要・別冊　名誉教授への聞き書き　川北稔名誉教授に聞く

『岸本忠三 第十四代大阪大学総長回顧録』の刊行

大阪大学アーカイブズでは、岸本忠三第十四代大阪大学総長のオーラルヒストリーと式辞・告辞を集めた『岸本忠三第十四代大阪大学総長回顧録』を大阪大学出版会から2018年3月に刊行しました。アーカイブズが手がけた元総長回顧録の3冊目です。最寄りの書店でお求めになれます。

岸本忠三 第十四代大阪大学総長回顧録
編　者　大阪大学アーカイブズ
　　飯塚一幸、菅　真城
発行所　大阪大学出版会
四六判　216ページ　上製
定価　2,400円＋税
ISBN　978-4-87259-615-1　C3023

業務日誌(抄)（2018年3月～2018年8月）

2018年

・３月５日　名桜大学教員が視察
　菅教授(社学共創本部、アーカイブズ兼任教員)、全国大学史資料協議会西日本部会2017年度第5回幹事会(関西学院大学大阪梅田キャンパス)に出席
・３月15日　工学研究科から故熊谷信昭元総長の写真について照会
・３月27日　菅教授、東京出張。第207回記録管理学会理事会に出席
・３月30日　『大阪大学アーカイブズニューズレター』第11号を刊行
・４月９日　全学共通教育先端教養科目「大阪大学の歴史」開講。菅教授、「概観」講義
・４月13日　施設部がアーカイブズの現地確認
・４月21～22日
　菅教授、東京出張。日本アーカイブズ学会2019年度大会(東洋大学)に出席し、「大学アーキビストが行う研究について考える」研究発表
・５月11日　名誉教授から大阪府仮病院写真について照会
・５月18～19日
　菅教授、東大阪出張。記録管理学会2018年研究大会(近畿大学)に出席
・５月28日　学外から卒業生かどうかについて照会
・５月29日　菅教授、高松出張。第27回(平成30年度)香川県立文書館運営協議会に出席
・６月７日　菅教授、東京出張。「国際アーカイブズの日」記念講演会(ベルサール飯田橋ファースト)に出席
・６月８日　高橋室長、菅教授、東京出張。平成30年度全国公文書館長会議(ベルサール飯田橋ファースト)に出席
・６月26日　菅教授、東京出張。第209回記録管理学会理事会(株式会社エフエムソリューション)に出席
・６月27日　学外から展示候補になっている資料の寸法について照会
・７月２日　東京大学文書館から組織および文書移管について照会
・７月10日　名誉教授から建物竣工年について照会
・７月19日　津田秀行氏から資料受贈
・７月23日　菅教授、全学共通教育先端教養科目「大阪大学の歴史」で「戦争と大阪大学」講義
・７月24日　学外から資料の利活用について照会
・７月31日　菅教授、京都出張。全国大学史資料協議会西日本部会2018年度第2回研究会(京都市学校歴史博物館)に出席
　学外から旧職員の履歴について照会
・８月７日　学外から工学部の学科目について照会
・８月13～15日
　夏季一斉休業のため臨時閉室
・8月21日　第11回アーカイブズ運営委員会を開催
・8月23日　台風20号により暴風警報が発令されたため、13時43分～16時30分臨時閉室

大阪大学アーカイブズ利用案内

・開室日
次に掲げる日を除く毎日
(1) 日曜日及び土曜日
(2) 国民の祝日に関する法律（昭和 23 年法律第 178 号）に規定する休日
(3) 12 月 29 日から翌年の１月３日までの日

・利用時間
午前９時30分～午後４時30分

・利用請求の受付
午前９時30分～正午、午後１時～午後４時

大阪大学アーカイブズ構成員名簿

室　　長　　高橋　明男（法学研究科・教授）

〈兼任教員〉

【法人文書資料部門】
菅　真城（共創機構社学共創本部・教授）
瀧口　剛（法学研究科・教授）
三阪佳弘（高等司法研究科・教授）
藤本愼司（工学研究科・教授）
阿部浩和（サイバーメディアセンター・教授）
安岡健一（文学研究科・准教授）
中村征樹（全学教育推進機構・准教授）

【大学史資料部門】
菅　真城（共創機構社学共創本部・教授）
飯塚一幸（文学研究科・教授）
田口宏二朗（文学研究科・教授）
廣田　誠（経済学研究科・教授）
進藤修一（言語文化研究科・教授）
松永和浩（共創機構社学共創本部・准教授）

〈事務担当〉

大阪大学総務部総務課文書管理室

室　　長　野瀬　直則（総務部総務課長）
室長補佐　南野　晋也
主　　任　阪田　久美子
事務補佐員　笠川　佐穂理
　　伊丹　英樹

OSAKA UNIVERSITY ARCHIVES

大阪大学アーカイブズニューズレター　第12号

発行日　2018年９月28日
編集発行　大阪大学アーカイブズ
〒562-8558
大阪府箕面市粟生間谷東８－１－１
Tel.（072）730-5113
Fax.（072）730-5114
E-mail office@archives.osaka-u.ac.jp
http://www.osaka-u.ac.jp/ja/academics/facilities/ed_support/archives_room